

# ここで暮らしたいと思える施設づくり

高齢化・重度化の進む施設入所利用者への支援

社会福祉法人 更生会  
障害者支援施設 榎山学園  
サービス管理責任者 大山口 由貴

# 発表内容

- ▶ 法人・施設紹介
- ▶ ひまわり寮の現況
- ▶ 入所利用者の現況
- ▶ ひまわり寮での生活
- ▶ 利用者の望む暮らしとは
- ▶ ヒヤリハットとにやりほっと
- ▶ まとめ



社会福祉法人 更生会

Love & heart

### 更生会本部



〒891-0704 南九州市顛娃町別府4710-6 ☎ 0993-38-0234

**更生会**は昭和46年6月22日に法人を設立して以来、多機能型総合施設としてノーマライゼーションの理念の基に障害者支援に取り組んできました。時代と共に老人福祉・ディサービス・居宅介護等の事業を開設し、市の委託事業も積極的に取り組んで参りました。平成23年8月には更生会本部を新築し、より一層地域から親しまれる中核施設として地域や行政等と密接に連携し、障害者雇用促進や地域・社会貢献に努めております。



番所鼻公園

### \* 更生会本部から1300m南へ

江戸時代に日本地図を作成した伊能忠敬が、日本一の絶景と賞賛した**番所鼻公園**に着きます。そこには竜のおとし子「吉鐘」があり、鳴らす回数で幸運や子宝などに恵まれると言われております。

4



初代理事長銅像

### 更生会グループは

東には薩摩富士と呼ばれる開聞岳を抱き南には東シナ海が大きく広がり、遠くには硫黄島竹島を望む風光明媚な環境にあります。



# 社会福祉法人 更生会グループ

## 障害者支援施設 榎山学園

昭和47年3月1日開設 平成23年5月1日移行  
生活支援センターなんさつ  
居宅介護等事業



## 障害者支援施設 慈生園

昭和57年4月1日開設 平成23年9月1日移行



指定共同生活援助(介護サービス包括型)

平成23年5月1日開設  
**響**



平成23年9月1日開設  
**アムール**



## 給食センターつどい

平成24年11月1日開設  
就労継続支援A型事業所



## YELLOWショップ

平成22年4月1日オープン



指定共同生活援助(介護サービス包括型)

**望岳荘** 平成3年~15年、6ホーム開設



## 介護老人福祉施設 望洋の里

平成元年9月1日開設



更生会本部から東へ約8 km

## 障害者支援センター すてっぷ

平成22年4月1日開設 (平成28年9月1日移転)



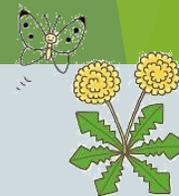
更生会本部から東へ約4 km

## 養護老人ホーム 寿楽園

平成19年4月1日知覧町より移管



更生会本部から西へ約5 km



## 【主な行事】

- 4月 開園記念
- 5月 遠足
- 6月 法人設立記念（縁日）
- 8月 ソーメン流し
- 9月 合同運動会・納涼大会
- 10月 秋の1日遠足
- 12月 クリスマス・忘年会
- 3月 家族参観

## （榎山学園日課）

- 7:00 起床
- 8:00 朝食
- 9:00 日中活動
- 12:00 昼食
- 13:00 日中活動
- 16:00 活動終了
- 16:15 入浴
- 17:00 生活支援
- 18:30 夕食
- 21:00 就寝

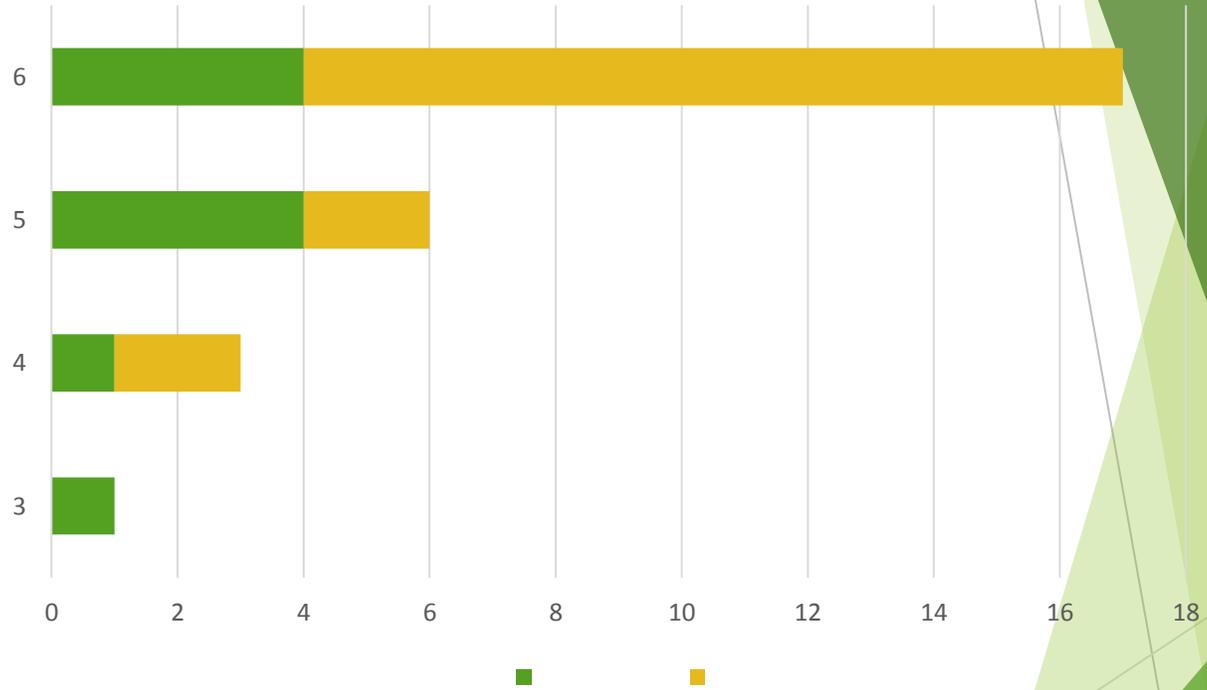
- ・入所支援（定員75名）
- ・短期入所事業（空床型）
- ・日中一時支援事業
- ・生活介護（80名）
- ・居宅介護等事業

更生会HP : <http://kousei-kai.or.jp/>

# 入所利用者について（ひまわり寮）

- ▶ ひまわり寮は女性（入所者全員）と男性（主に高齢・身体的重度）が一緒に暮らしている
- ▶ ひまわり寮に入所中の利用者  
最高齢85歳・最年少40歳（共に女性）
- ▶ 寮平均年齢：60歳
- ▶ 寮入所者の3分の2が支援区分6
- ▶ 入所利用者の高齢化が進み、それと共に支援・介護度の重度化も進んでいる

ひまわり寮 入所者支援区分



# ひまわり寮での生活（日中活動）

- ▶ ・ 1～4G（程度別）に分かれて活動
- ▶ ・ 1G（身体的にある程度自立している。意思疎通もある程度可能。軽度）
- ▶ ・ 2G（身体的・声掛けの理解度的に部分的な支援が必要。中程度）
- ▶ ・ 3G（身体的にも・理解度的にも全般的な見守り・介助が必要。重度）
- ▶ ・ 4G（脳性まひ等による肢体不自由により全面的な介助が必要。体力が無く、静養・マッサージ等が活動の主となる。強度行動障害により集団活動への参加が困難。マンツーマンでの支援が主。身体的・もしくは知的に最重度）

▶ 職員は当日の勤務状況で4Gの必要配置ごとに割り振る。

（前日に各寮主任が各寮・各Gに適切な人員を配置）

（配置割合： 1→4G：少→多 となる

1G：11名に対し2～3名配置 →4G：8名に対し4名）

年月日	曜日	日中活動	日中職員配置	入浴	備考
○年○月○日		すみれ寮 青野 前田 今村 岩崎 藤部 尾曲 山中	C動 坂下 渡上 GH B9動		今朝 朝礼時司会兼はひ物 王任会～9:30 W抽選会～16:00
		ひまわり寮 大塚 石川 中村	C動 坂下 渡上 GH B9動		今朝 朝礼時司会兼はひ物 王任会～9:30 W抽選会～16:00
		ささなか寮 アズマ	C動 坂下 渡上 GH B9動		今朝 朝礼時司会兼はひ物 王任会～9:30 W抽選会～16:00
		作業室 西田 大江	C動 坂下 渡上 GH B9動		今朝 朝礼時司会兼はひ物 王任会～9:30 W抽選会～16:00
		農耕班 藤田 下野 井野 藤田	C動 坂下 渡上 GH B9動		今朝 朝礼時司会兼はひ物 王任会～9:30 W抽選会～16:00

# 利用者の望む暮らしとは

それぞれに好き嫌いがあるように、望む暮らしも人それぞれ

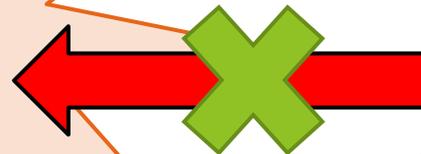
服が欲しい  
美味しい物が食べたい  
髪を染めたい  
好きな曲を聴きたい  
...etc

〇〇さんと仲が良  
いから一緒に過ご  
せると良いな

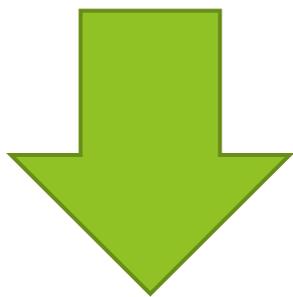
こっちよりあつ  
ちの方が楽しそ  
う

1人で静かに過ご  
したい。騒がしい  
のは苦手...

思いをうまく伝えられな  
い人もいる  
伝えられない人はどうす  
ればいいのか



# そんな利用者に対して 支援者はどうすれば良いのか



言葉にできない思い、言葉のウラにある  
**本当の思い**を汲み取る支援が必要

※ここで皆さんに質問です

Q. 普段、利用者の方に提供している支援には  
どのようなものがありますか？

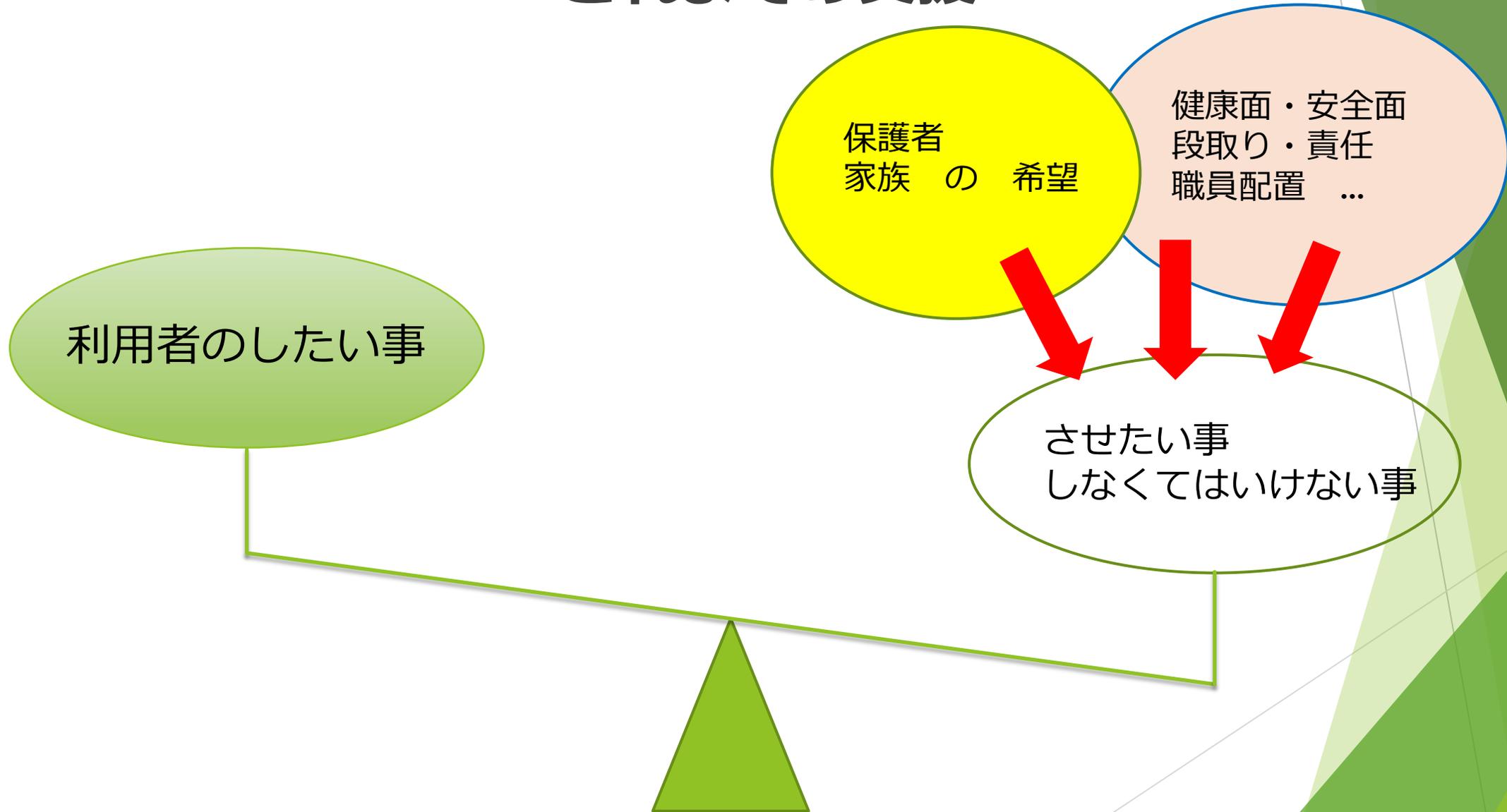
日中活動

余暇支援

行事

それは利用者の方が望んでしていることですか？

# これまでの支援

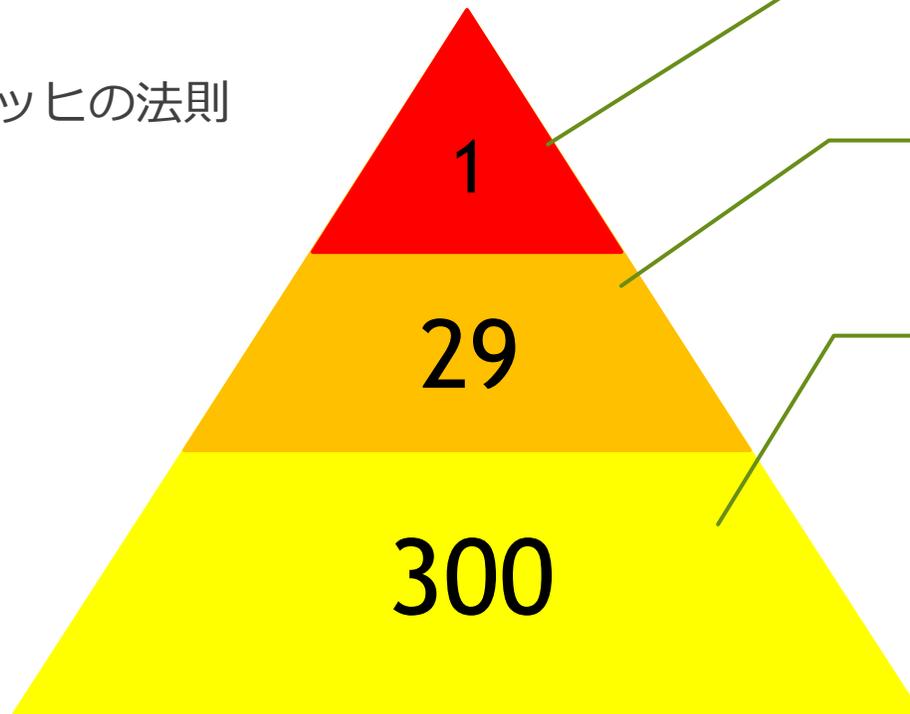


# “にやり・ほっと” と “ヒヤリ・ハット”

## ヒヤリハット：

重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例の認知

### ▶ ハインリッヒの法則



1 件の重大な事故・災害

2 9 件の軽微な事故・災害

事故に至らない3 0 0 件の  
ヒヤリ・ハット

**ヒヤリ・ハットの事例を収集・分析し、対策を行うことで重大な事故・災害を防ぐ事に繋がる。**

**にやりほっと**：「にやりほっと」は「ヒヤリハット」の反対で、スタッフがご入居者のプラス面（できることや生活歴）に目を向け、にやりとしたり、ほっとしたりしたことを記録する報告書のことです。

カード記入のルール（ひまわり寮）

①利用者さんの笑顔をみつける

※「にやり」でも可

②利用者さんの様子を見て思わず「にこっ」となった場面を書く。

③何をしていた場面だったかを皆に伝わるようにわかりやすく書く。

▶ にやりほっと書式

ほんわかカード ひまわり	
提出者	
だれが	さん
日時	年 月 日 曜日
場面	
ほんわかしたこと	

# にやりほっと事例

## AさんとBさんの助け合い

- ▶ 朝食の時、スプーンがないことに気付いた**Bさん**（集団に入る事が得意ではなく、日中は一人で動いている事が多い。周囲が騒がしいと物を投げたり、奇声を上げたりする）に対し、斜め前に座る**Aさん**（他の利用者さんに対し抓む、叩く、暴言を言うなど他害行為を行ってしまう）が下膳場所に置かれていた未使用のスプーンを取って来て笑顔で差し出した。



## Bさんの手助け

- ▶ **Dさん**（パーキンソン病であり、一人での移動が困難）が手元のゴミを捨てたいと声を上げていたところ、**Bさん**（事例1参照）が近寄りゴミをゴミ箱へ捨ててあげていた。

にやりほっとから見られるBさんの良い点

- ・困っている人を見つけると手助けできる優しさを持っている。
- ・職員の手伝いという形で活動に入りやすくなる

⇒Bさんはシーツ運びや足湯の薪運びなど職員と一緒に運搬する作業を中心に声をかけることで活動への参加が多くなった。

# にやりほっと事例

## Cさんの歌声

カラオケで水戸黄門の曲をかけると、笑いながら歌いだすCさん。歌い終わると「いえーい！！」とバンザイをする場面があった。

※Cさんは活動への参加はあまり積極的ではなく、みんなの輪の中に入る事も苦手。他の方が近くを通ると手を伸ばし、引っ張ったりちょっかいを出すことも多い。

レクリエーションの参加の声かけをすると自分の席から動くのが嫌なのかいつも首を振っていたCさん。  
歌謡曲や童謡など知っている曲をレクリエーションや体操で使う事で歌って参加出来る様になった。



# にやりほっと事例



言葉は伝えられなくても、  
意思はあります。

## Eさんの今日の洗面器選び

- ▶ いつも洗面器を持ち歩き、洗面器の裏面を指で弾くようにして叩いているEさん。起床介助時、ホールへ歩き出そうと手を引くと足が止まって動こうとしない。何故かと思いEさんが見ている方向を確認するとそこには黄色とピンクの洗面器が。手には既に洗面器が握られていたが、その2つを並べてみると手にしていた洗面器を置き、少し考えるように手がさまよった後ピンクの洗面器を手にとった。今日はピンクの気分らしい（笑）。

※Eさんは自分の名前しか言えずそれもひたすら繰り返すため、名前としての理解があるのかも不明。

## お化粧品教室での にっこり笑顔

以前から、「口紅を差したい。」「お化粧品がしたい」と言っていたFさん。地域の方でお化粧品教室の声を掛けていただき、お試しでしてもらうことに。真剣な表情で眉を描いたり口紅を塗ったりするFさん。普段は手が震えることを気にして手指を動かす作業を好まないFさんがこの時は不思議と手の震えも治まっていました。

最後にコサージュを飾り、満面の笑みで写真に写るFさんを見て、お化粧品でこんなにも笑顔になれることに驚いた。



# 買い物イベント



買い物は好きだけどなかなか行けない... (余暇支援として年数回実施しているが...)  
長距離の移動は疲れる...施設に業者を呼んで販売会をしておこう！  
半年に1度のペースで数年前から実施しています。



# 日中活動～設備面の充実



足湯



施設内カフェ  
Open 14:30～15:30

# にやりほっとの実施を通して

## 良いとおもう点

- ▶ ヒヤリハットだけでは見えないプラスの視点を得る事ができた
- ▶ これまでは個人の満足感で終わっていた利用者への支援への結果が目に見えて分かるようになり、支援全体で共有できるようになり、より利用者への支援に前向きになれる
- ▶ 支援の愚痴は聴いた側のストレスになりかねないが、支援に対する前向きな発言は支援へのモチベーションになる

# にやりほっとの実施を通して

## 改善が必要な点・反省点

- ▶ なかなか定着しづらい

- 「初めは担当の利用者の事を書いてみる」「1月に1枚は書く」など到達しやすい目標をだした

- どのような場面がにやりほっととして上がったのかヒヤリハットの検討会議の様  
様に毎月報告できる場があると良かった

- ▶ 書式を細かくしすぎると面倒になり、にやりほっとの記入が億劫になる

- 当初よりも簡略化を実施

- ▶ 思った時に書けると良いが支援に追われて書く時間がとりにくい

- 今日誰が何をしたかを思い出す時間 = ケース入力の際にカードを設置

- ▶ モニタリングに反映出来る様に準備していたが、全員が見えるような掲示物を用意すると良かった

- ヒヤリハットと並行して見える化する予定

# ここで暮らしたいと思ってもらえるように

## これまでの支援

- ▶ 支援員一人一人の経験値・価値観で動く
- ▶ 利用者さんのマイナス面ばかりに目がいきがち
- ▶ 何かしたいと思っけていても踏み出せない
- ▶ 支援員が気付きを持っけていても、一人で抱え込みチームで共有されない
- ▶ 「あっ」と閃いても形に残さないから忘れてしまう
- ▶ こうすれば良いんじゃない？を声に出さない。出しても形にならない

# ここで暮らしたいと思ってもらえるように こうありたいと願う支援

- ▶ 利用者さん本人の「できること」「したいこと」を全力で支援できる
- ▶ 「いつか」ではなく「今」動けるように
- ▶ 利用者さんのにやりほっとをみつけられる心のゆとりをもつ。  
職員が笑顔でいられる施設
- ▶ 手間・リスクを全員でカバーできるチーム力をつける
- ▶ みんなを毎日「全力で」支援出来れば最善←でも実現は難しい（マンパワーは限られている）。1日に1人ずつ・1つずつでも良い。しっかりと向き合える支援を

御清聴ありがとうございました



参照資料：ヒヤリハット：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

にやりほっと：長谷工 シニアホールディングスホームページ  
<http://www.haseko-senior.co.jp/niyari-hotto/>